

こども部門 最優秀賞 <sup>くぼ</sup>久保 <sup>はるか</sup>桜花さん（山梨県）

エコライフメッセージ

「緑のへいから生まれた家族の絆」

メッセージにまつわる活動内容

「このままじゃ地球がこわれちゃうよ。地球が熱いっていつてるんだよ」と私の4年生の妹の言葉から始まりました。家でへいを作る事になりました。でも妹の言葉から緑でへいを作る事になりました。みんなで休みの日に少しずつ土を掘って木を植えています。雨水を使うように雨の日はバケツで水をためました。

もう少しで緑のへいが完成します。「これで少しだけ地球が涼しくなるかな?」と妹も嬉しそうです。家族みんなでやった事も思い出になったし楽しかったです。

こども部門 優秀賞 <sup>いのうえ</sup>井上 <sup>はなね</sup>葉菜音さん（福岡県）

エコライフメッセージ

「わたしのセーターとおにいちゃんのズボン」

メッセージにまつわる活動内容

山口県にすんでいるわたしのおばあちゃんはなんでもすてません。

「もったいないからタダではすてんよ。」とってなんでもへんしんさせます。わたしの赤いセーターはむかし、おばあちゃんのセーターでした。ふかふかでとてもあったかいのでだいすきです。

おにいちゃんのズボンはほとんど、もとのすがたはおじいちゃんのズボンやコートです。おにいちゃんは半ズボンしかはかないので、おかあさんは「おばあちゃんが作ってくれてたすかるわあ」といいます。「むかしの人はものがなかったからみんなそうだったよ。」といいます。

それならみんなタイムマシンでむかしにもどったらいいのになあ。

こども部門 優秀賞 <sup>しだら</sup> 設楽 <sup>はるか</sup> 遥さん（福島県）

エコライフメッセージ

「江戸に見習う eco ライフ」

メッセージにまつわる活動内容

江戸時代に、リサイクルがさかんで日本へ来たヨーロッパ人が江戸の街並みを見て「江戸の街路は清潔で、まだだれも歩いていないと思われるほどです。」と言った話を授業で習いました。毎日の生活の中でごみの量は量りしれないほどあります。

我が家では、ごみをきちんと分別し、ペットボトルやプラスチック製品などリサイクルできるものはすべてリサイクルに出しています。ごみを出さないように、むだな買い物をひかえ、電気や水などの資源を大切に使っています。

みんなが江戸時代の人たちを見習って eco に取り組めば日本はもっときれいな国になり良いと思います。